

令和2年10月23日

保護者 各位

上市町教育委員会

まだまだわかっていない新型コロナウイルスの特徴と感染防止のための
取り組みについて（Ⅱ-第16報）

先日、秋冬を経験したオーストラリアの研究機構から新型コロナウイルス感染症の原因となるウイルスについての研究結果が公表されました。インフルエンザA型の原因となるウイルスとの比較がされ、私たちが指先で触れることがあるもの、加えて人づてに渡ることが想定されるものについて、ウイルスの生存の可能性が調査されました。実験に用いられた素材は、紙、ポリマー、ステンレス鋼、ガラス、ビニールであり、その実験結果から、20℃ですべての素材の表面で28日後にも生存の確認があったこと、また、インフルエンザについて行った同様の実験では、最長でも17日だったとのことが公表されました。

このことより、インフルエンザウイルスと比較して、新型コロナウイルスはより強いウイルスだということができるとしています。

また、このウイルスは付着した物に触れるよりも、感染者との接触やウイルスが浮遊している閉鎖的な空間において、空気を吸い込むことで感染するケースが多いこともわかってきているようです。しかし、物に触れることで、感染する可能性がゼロではないことは、注意しなければならないようです。多くの人が触れる可能性が高いもの、次々に人が触れることが考えられるものとして、紙幣、キッチンや公衆トイレのステンレス鋼、携帯やパソコン、ATMなどの液晶画面、携帯のスクリーンプロテクター、乗り物や建物内の手すり、テーブルなどがあり、これらを定期的に消毒することがとても大切なこととなります。

これらの研究結果から、何か一つの対策をとると完璧というものではなく、一人ひとりができる限りの感染予防の対策をとりながらも、消毒や手洗い、マスクの着用など基本的な予防対策を丁寧に続けていくことが必要な対策と思われます。